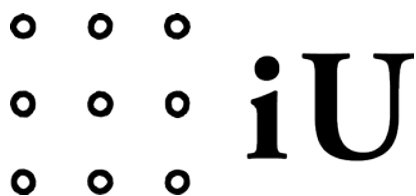


情報経営イノベーション専門職大学

2020年度  
外国人留学生直接入学用  
学生募集要項



情報経営イノベーション専門職大学 理念体系	.....	3
入試区分及び募集定員・入学検定料・出願から入学日までの流れ・写真データについて	.....	5
インターネット出願の流れ・志望理由書について・学費等納付金	.....	6
留学生一般入試（外国人留学生直接入学）	.....	7
受験上の注意・合格発表・入学手続き・個人情報の取扱・特待生試験	.....	9

## 教育の理念

変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。

## 大学の目的

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、広くイノベーションに関する知識と専門の学術を深く教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させることを目的とする。

## 情報経営イノベーション学部の目的

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。

## アドミッション・ポリシー

本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

- ①高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要となる基礎的な能力を身に付けている。
- ②社会のさまざまな問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
- ③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルをもとに社会のさまざまな課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。
- ④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。

## ディプロマ・ポリシー

養成する人材像を踏まえ、本学の定める履修要件を満たしたうえで128単位を修得した者に学位を授与する。

具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。

- ①職業的自立を図る能力
  - ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
  - ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
  - ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。
- ②経営に関する知識・スキル
  - ・企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
  - ・市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
  - ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
  - ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。
- ③情報通信技術に関する知識・スキル
  - ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
  - ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
  - ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解しその上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
  - ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
  - ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。
- ④国際的コミュニケーション能力
  - ・グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
  - ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。
- ⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力
  - ・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門教育科目、展開科目、総合科目を体系的な教育課程として編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。

## 1. 教育内容

- ①基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。
  - ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
  - ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
  - ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。
- ②職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。
  - ・企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
  - ・市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
  - ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
  - ・目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
  - ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。
- ③職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。
  - ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
  - ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
  - ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
  - ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
  - ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。
- ④展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。
  - ・グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
  - ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。
- ⑤総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

## 2. 教育方法

- ・目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを4年間かけて作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、担任や学生支援専属の職員(イノベーションマネージャー)と共に「ふりかえり」を行う。
- ・主体的な学びの力を高めるために、グループによる少人数の演習科目やプロジェクト学習を取り入れる。
- ・教育課程の体系を理解したうえで履修し学ぶことができるよう、カリキュラムマップ(資料19)を活用した履修指導を行う。
- ・LMS (Learning Management System) による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。

## 3. 教育評価

- ・試験評価等をシラバスによってあらかじめ明示し基準に従って適切に行う。また主に試験及びレポートを中心に評価を行う。
- ・各成績評価をもとに単位あたりの成績評価の平均値を示す総合成績評価GPA(Grade Point Average)を算出して履修指導等に活用する。
- ・インターンシップの履修条件として2年次終了時までに必要な科目の単位を修得していること。
- ・4年間の学修成果は「総合理論演習」「総合実践演習」によって行い、複数教員による評価を活用する。

## 入試区分及び募集定員

学部	学科	募集人員
情報経営イノベーション学部	情報経営イノベーション学科	200名

留学生入試：30名（内、留学生一般入試は10名）

※上記は全入試日程を通じての人数となります。

## 入学検定料

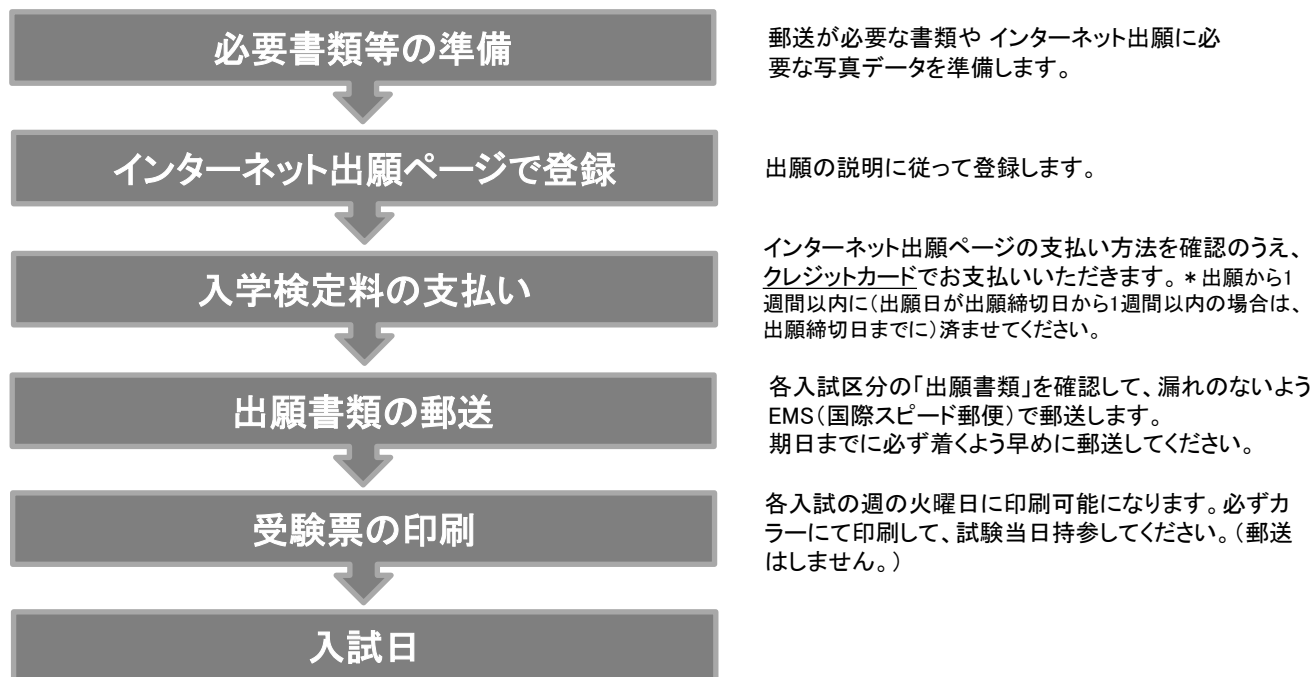
30,000円

インターネット出願の画面に、振込み方法が提示されますが、「直接入学」の受験生はその中の「クレジットカード」で振り込みをしてください。

※検定料のほかに支払い手数料（800円）がかかります。

※一度納められた入学検定料については、理由の如何を問わず返還いたしません。

## 出願から入試日までの流れ



## 写真データについて

以下を参照し「証明写真機」（写真データをダウンロード及び取得ができるもの）、スマートフォン等のカメラ機能、デジタルカメラ等で写真撮影してください。

- 上半身のみが写っていること
- 顔が正面を向いていること
- 顔がはっきりと鮮明に写っていること
- 帽子をかぶっていないこと
- 顔の位置が偏っていないこと
- 画像を加工していないこと
- 無背景なこと（白・薄い青・グレーなど）
- 影がないこと

また、写真は直近3か月以内、カラー写真、ファイル形式は「.jpg」「.jpeg」のいずれかとしてください。また、画像容量は10MB以下としてください。（画像容量の推奨は1MB～2MBです。）入学決定後、学生証用にこの写真データを、改めて提出いただけます。

## インターネット出願の具体的な流れ

以下のURLを確認してください。

<https://www.syutsugan.net/i-u>

「インターネット出願の流れ」の説明をお読みいただいた上で、「インターネット出願はこちら」の下にある「はじめて出願される方」からお入りください。



## 志望理由書について

志望理由書は、インターネット出願「課題・質問項目」にある「志望理由書」を入力してください。記述する内容は以下のとおりです。

「本学を志望した理由と、何を学びたいか、また、どのような将来を描いているかを具体的に記述してください。  
なお、本学アドミッション・ポリシーをよく読んで、本人が記述してください。（400字以上800字以内）」

## 学費等納付金

### 【学費】(円)

科目	初年度納入額	2年目以降納入額
入学金	200,000	-
授業料(実習費含む)	1,080,000	1,080,000
設備維持費その他	320,000	320,000
計	1,600,000	1,400,000

\* 一度納められた入学金については、理由の如何を問わず返還いたしません。

### 【その他納付金】(円)

科目	初年度納入額	2年目以降納入額
保険料	4,660	-
学友会費(入会費)	20,000	-
学友会費(年間費)	5,000	5,000
計	29,660	5,000

\* 大学から指定されたパソコンもしくは同等の機能を有するパソコンが全員必携となります。購入については合格後にご案内いたします。  
\* 左記以外に、ソフトウェア、教科書、教材等が別途かかります。  
\* 保険料については、変更になる場合があります。

**入試の概要**

本学の教育方針やカリキュラムなどを十分に理解したうえで、本学で学びたい！やってみたい！という高い勉学意欲や目的意識をもった留学生のための入試です。面接試験と小論文試験を通じ、本学で学ぶ意欲や、必要なコミュニケーション力、日本語力などを評価する入試です。

**出願資格**

以下の1～4の要件のすべてに該当する者

- 1.外国において、学校教育における12年の課程を修了した（見込みの）もの、または、その国において大学入学資格を有する者
- 2.日本国以外の国籍を有する者
- 3.日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。
  - ア)日本語能力試験（JLPT）のN2以上に合格している。
  - イ)日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が200点以上習得している。
- 4.本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者

**募集人数・定員**

合計 10名

**入試・出願情報**

項目	日程
出願受付期間	11月13日（水）～11月28日（木）
試験日	12月7日（土）
合格発表	12月13日（金）
入学手続き及び入学金納付期日	1月9日（木）

**試験時間**

試験開始時間等については、受験票交付時にお伝えします。

**試験会場**

日本電子専門学校 韓国事務所 SEOUL市中浪區烽火山路190（新内洞）官商複合庁舎703號  
 ＊ 試験会場までの交通手段や所要時間は事前に確認しておいてください。

**出願書類**

出願書類提出先：学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学 設立準備室 入試担当  
 郵便番号 169-8522  
 住 所 東京都新宿区百人町1-25-4

志願票 （インターネット出願「入試情報」及び「個人情報」を入力することで、志願票の提出とします。）	インターネット出願
志望理由書 （インターネット出願「課題・質問項目」にある「志望理由書」を入力してください。）	インターネット出願
最終出身校（高等学校、大学、専修学校）の卒業証明書又は卒業見込証明書（原本） ※1 英語により作成された以外のもは日本語訳を添付してください。その場合、大使館や公証役場などの公的機関、または所属する日本語学校などで証明を受けてください。 ※2 大学や専修学校を卒業している者は、高等学校、大学等の両方の証明書を提出してください。	郵送
最終出身校（高等学校、大学、専修学校）の成績証明書（原本） ※1 同上 ※2 同上	郵送
日本語能力証明書（原本） ※日本語能力試験（JLPT）N2以上の証明書若しくは日本留学試験（EJU）の日本語科目合計200点以上の証明書	郵送
外部英語検定スコア・等級等証明書 （実用英語技能検定試験、TOEIC、TOEFL、IELTS、Cambridge English、TEAP、GTEC） ※任意	郵送
日本入国後の身元保証人の氏名、年齢、職業、住所等を記載した書類 ※インターネット出願ページから「留学生入試 身元保証人等 調査票」をプリントアウトし、記入してください。	郵送
授業料等の支弁能力証明書 ※インターネット出願ページから「経費支弁書」をプリントアウトし、受験者自身が記入してください。 それ以外に提出する必要がある書類は、「その他必要に応じて本学が指定する書類」欄で確認してください。	郵送

出願書類（続き）

健康診断書 ※インターネット出願ページから「健康診断書」をプリントアウトし、医師に記入していただいでください。	郵送
パスポートのコピー（顔写真のページ及び日本滞在に関わる全てのページ）	郵送
日本での最終出身校の出席状況証明書 ※日本国内で学校（日本語学校、大学、専修学校等）に在籍していた者のみ	郵送
日本語教育機関の修了証明書（原本） ※日本国内で日本語教育機関に在籍していた者のみ	郵送
日本語教育機関の成績証明書（原本） ※日本国内で日本語教育機関に在籍していた者のみ	郵送
その他必要に応じて本学が指定する書類 ○出願者自らが経費を支弁する場合 ・申請人名義の預金証明書 ・給付金額及び給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書（該当する場合） ○出願者の親族等からの送金による場合 ・送金者名義の預金残高証明書及び預金証明書の写し ・送金者の在職証明書（本人による日本語訳も添付のこと） ・申請人との関係を証明する文書（公証書（住民票もしくは戸籍謄本）（本人による日本語訳も添付のこと）） ・預金能力を裏付ける資料（経費支弁者の給与明細・納税証明書など（本人による日本語訳も添付のこと）） ※ 上記以外の書類の提出を求める場合があります。	郵送
郵送出願書類確認リスト ※インターネット出願から「郵送出願書類リスト」をプリントアウトし、チェック欄に☑してください。	郵送

- \* 提出された書類は一切返還しません。
- \* 郵送の必要な書類については、留学センターで書類を確認してもらったうえで、各自がEMS（国際スピード郵便）で郵送してください。なお、2019年11月28日（木）必着ですが、余裕をもって郵送してください。

選抜方法

出願書類、面接試験、小論文の内容から総合的に評価を行い、可否を決定します。  
小論文のテーマ及び文字数は、出願後の受験票交付時にお伝えします。

問い合わせ先

〒169-8522  
東京都新宿区百人町1-25-4  
学校法人電子学園 情報経営イノベーション専門職大学 設立準備室 入試担当  
土日祝休み 9:00～17:00

TEL : 03-3363-7775  
URL : <http://www.i-u.ac.jp>



## 受験上の注意

- 1.試験会場までの交通手段や所要時間は事前に確認しておいてください。
- 2.受験票ならびに筆記用具を持参してください。
- 3.入試当日の集合時間は、受験票交付時にお伝えします。入試日当日は終日予定をあけておいてください。
- 4.試験会場へは早めの到着を心がけてください。
- 5.面接控室及び試験室では、携帯電話等の電子・通信機器の電源を切り、カバンにしまってください。時計の代わりとして携帯電話等の電子・通信機器(スマートウォッチ含む)を使用することはできません。
- 6.交通機関の遅延等により集合時間に間に合わない場合は、日本電子専門学校 韓国事務所 (TEL 070-7760-1088) に連絡してください。

## 合格発表

- 1.合格結果は、インターネット出願システムのメッセージ機能で伝達するとともに、書類を郵送します。
- 2.合格結果に関しまして、電話やメールでのお問合せには一切応じることができません。

## 入学手続き

- 1.合格者には、入学手続きに関する案内をインターネット出願のメッセージで伝達するとともに、書類を郵送します。
- 2.入学手続きに関する案内に従って、手続き書類を提出し、入学金をお振込みください。なお、入学金は理由の如何を問わず返還いたしません。
- 3.入学手続きは、必ず定めた期間内に行ってください。期間経過後の入学手続きは、いかなる事由があっても、一切認めません。

## 個人情報の取扱

志願時に収集した個人情報を、入学者選抜試験、合格発表、入学手続きおよびこれらに付随する業務のために利用します。その際は、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等のないよう、適切な管理を行います。また、上記の業務に関して、一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し契約等により適切な管理を義務付けます。

## 特待生試験

### 出願資格・出願要件

- AO入試 (A・B日程)、推薦入試 (A日程)、一般入試 (A日程)、留学生入試 (A・B日程) の受験生のうち、特待生を希望する者。
- \* 特待生もしくは寮特待の試験の受験を希望する者は、インターネット出願時に、「新規出願ページ」の「課題・質問項目」にある「特待生試験の受験を希望します。」(寮特待を希望する場合は「特待生試験(寮特待)の受験を希望します。」) にチェックを入れてください。

### 募集人数・定員

合計 最大で20名(寮特待は若干名)

### 学費免除額

A特待 1,400,000円/年 免除

B特待 700,000円/年 減免

C特待 200,000円/年 減免

学生寮特待 寮費 約540,000円~630,000円/年間総額 減免

- \* 継続審査は毎年実施(2年次以降は成績等で審査)
- \* 「学生寮特待」とは、指定学生寮運営会社「株式会社寮特待」とパートナーシップを結ぶことにより導入された制度です。この制度は、遠方の入学者のうち、ひとり暮らしが必要であり且つ経済的に進学が困難な方を応援することを目的としています。選考の結果、寮生として模範的な行動をとることができる方に対して、寮費を減免します。要件は「退学、中途退寮不可」「契約年数1年(本学の成績等状況・寮生活状況によって更新可)」です。

#### 【学生寮特待生 活動内容】

- ①模範寮生としての生活(毎日の挨拶、ルールの遵守)
- ②寮内コミュニティーのサポート
- ③レポート提出「学生寮運営上の課題と改善点について」年3回程度

### 特待生試験の選抜方法

- ・面接を実施する入試種別の場合、当該入試の面接試験の中で特待生に関する質問を課します。当該試験に面接がない入試種別の場合は、特待生試験用の面接を同日に実施します。入試結果と特待生に関わる面接の結果を勘案し、特待生を決定します。
- ・特待生試験は二回受験することはできません。

### 特待生試験の結果発表

- ・当該入試の合格発表と同時に発表します。